

日進市下水道施設包括管理業務委託（ゼロ債）

事業者選定基準

令和8年7月

日進市 建設部 下水道課

目 次

第1 審査の概要.....	1
1 選定方法.....	1
2 優先交渉権者選定の体制.....	1
3 審査方法.....	1
4 審査結果の公表.....	1
第2 審査の内容.....	3
1 資格審査.....	3
2 競争的対話.....	3
3 提案審査.....	3
(1) 基礎審査.....	3
(2) 定量化審査.....	4
4 優先交渉権者の選定.....	4
第3 評価点の算出方法.....	5
1 性能評価.....	5
(1) 配点方針.....	5
(2) 評価方針.....	5
2 価格評価.....	8
3 総合評価.....	8

第1 審査の概要

1 選定方法

本事業は、本市が所管する汚水処理施設に対する維持管理と更新工事を一体的なマネジメントにより、事業者の創意工夫やノウハウ等を最大限活用し、汚水処理事業及び経営の持続性の向上並びに将来にわたる安定した汚水処理サービス水準の確保を図るものであり、専門的な知識や技術を有する事業者に対し、創意工夫やノウハウを生かした効率的かつ効果的な事業運営を求めるものである。

本事業の事業者の選定に当たっては、提案内容を総合的に評価する必要があることから、募集及び選定は公募型プロポーザル方式により行う。

2 優先交渉権者選定の体制

本市は、客観的な評価を行うために、有識者を含む「日進市下水道施設包括管理業務委託（ゼロ債）プロポーザル方式等評価委員会」（以下「委員会」という。）を設置し、事業者選定基準の検討や提案の審査及び評価等を行う。なお、委員会は非公開とする。

また、本事業に応募しようとする者やそれと同一と判断される団体等が、本事業について委員会の委員への問い合わせや働きかけを試みた場合は、本事業の参加資格を失う。

3 審査方法

資格審査及び提案審査の2段階で審査を行う。審査の手順は図1に示す。

資格審査では、資格審査に参加する応募者から、募集要項等に定めるところにより作成された参加表明書及び資格審査申請書類を受け付ける。

本市は、参加資格要件を充足することを確認の上、資格審査の結果を通知する。

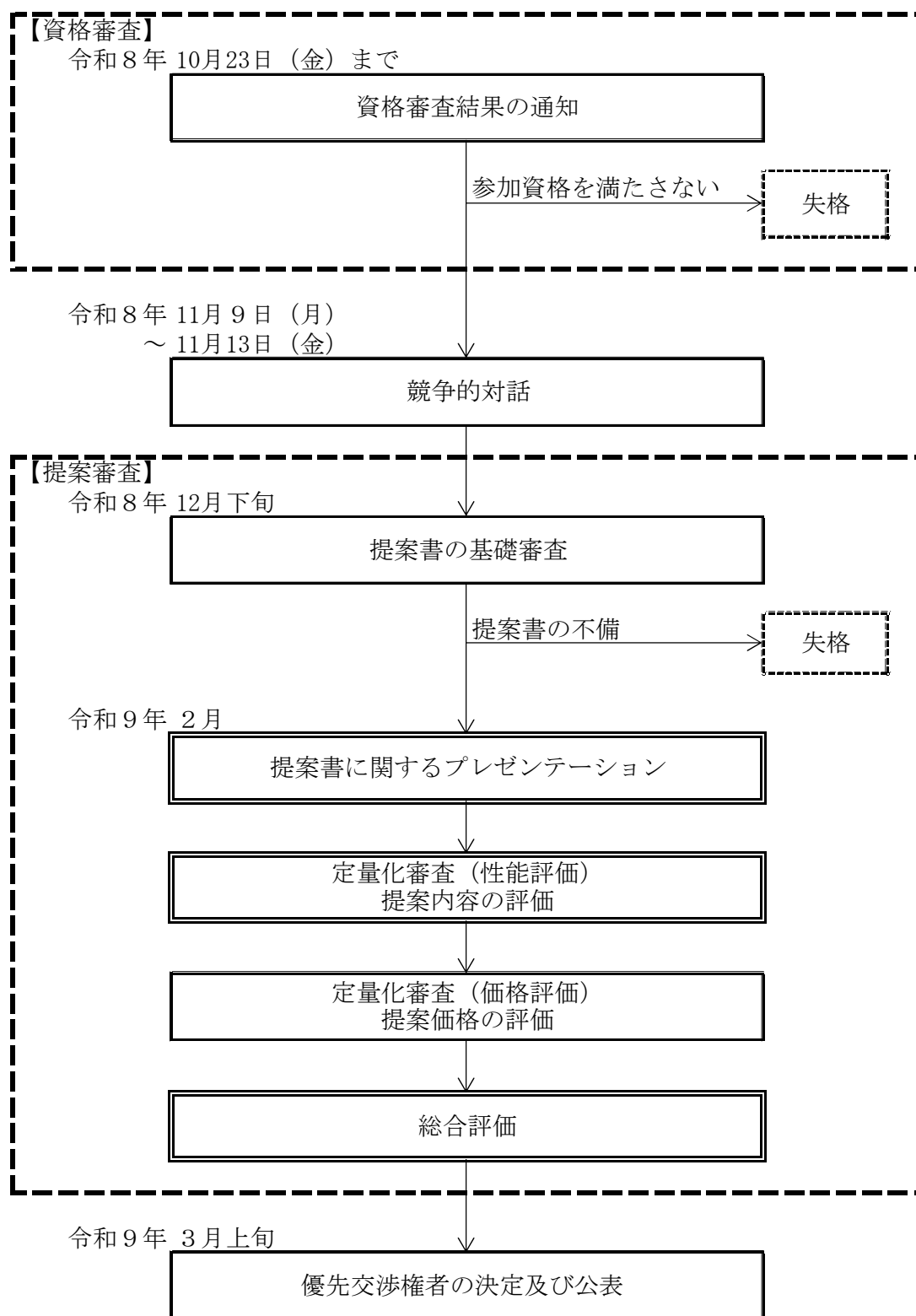
申請期限までに参加表明書及び資格審査申請書類を提出しない者並びに参加資格がないとされた者は、本プロポーザルに参加することはできない。

提案審査では、資格審査を通過した応募者から、募集要項等に定めるところにより作成された技術提案書類を受け付ける。委員会は、事業者選定基準に基づく書類審査に加え、技術提案書に関するプレゼンテーション等による提案内容の確認を踏まえ、審査を行う。

本市は、委員会の審査及び評価を受け、優先交渉権者を選定する。

4 審査結果の公表

本市は、優先交渉権者の決定後、事業者の選定過程の透明性を確保するために必要な資料を本市のホームページにて公表する。



凡例 : 審査委員会 : 本市

図1 審査の手順

第2 審査の内容

1 資格審査

応募者からの参加表明書及び資格審査申請書類をもとに、参加資格要件の具備を本市において確認する。

募集要項の「第2 3 応募者の備えるべき参加資格要件」に示す参加要件を満たしていない応募者は、失格とする。

本市が書類不足等により審査できないときに、本市が指摘した事項に対して速やかに応募者から補填された場合は、再度審査できるものとする。

資格審査の結果は、本市より応募者に通知する。

2 競争的対話

資格審査を通過した応募者を対象に、本市は競争的対話を行う予定である。

詳細は募集要項「第2 4 (6) 競争的対話の実施」に記載のとおりとする。

3 提案審査

(1) 基礎審査

提案審査は、資格審査を通過した応募者から、募集要項に定めるところにより作成された提案審査書類を受け付ける。

本市は、応募者から提出された技術提案書に記載された内容をもとに、表1に示す「基礎審査項目」の内容を満たしていることを確認する。

基礎審査項目について、全てが適格と確認された応募者は、定量化審査の対象とし、1項目でも満たさないことが確認された応募者は失格とする。

ただし、技術提案書類の不備又は不足等があり、当該事項に関する本市からの指摘に対して応募者から速やかに修正又は補填等がなされた場合はこの限りではない。

表1 基礎審査項目

審査対象	基礎審査項目
共通事項	・技術提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。 ・技術提案書全体について、様式集に従った構成（項目の構成、枚数制限等）となっていること。

(2) 定量化審査

定量化審査は、技術提案書の内容（性能評価）と見積価格（価格評価）を総合的に評価する。

定量化審査（性能評価）は、基礎審査を通過した応募者から、提案内容の正確な把握及び疑問点の確認のため、応募者からの技術提案書に関するプレゼンテーションを踏まえて、審査を行う。定量化審査（性能評価）は、提案内容を委員会の各委員が得点化を行い、応募者の評価点を算出する。なお、プレゼンテーションの日程、場所等については、後日、対象となる応募者に対して個別に通知する。

4 優先交渉権者の選定

本市は、委員会の選定結果を踏まえ、優先交渉権者を決定する。なお、評価点が同点の場合は、くじにより優先交渉権者を決定する。

本市と優先交渉権者は、募集要項等に基づき事業契約手続を行う。ただし、優先交渉権者の事由により事業契約の締結に至らなかった場合は、評価点の上位の者から順に契約交渉を行う。

優先交渉権者は、令和9年3月上旬に本市より応募者へ通知する。

第3 評価点の算出方法

1 性能評価

(1) 配点方針

定量化審査（性能評価）は、表3から表5に示す評価項目ごとに評価、採点する。
なお、評価点の合計点は100点とする。

(2) 評価方法

評価点は、評価項目ごとに表2のとおり3段階で評価し、得点化する。

各委員は評価項目ごとに得点化を行い、その得点を基に、評価項目ごとの平均点を算出する。

応募者の評価点は、各評価項目の平均点の合計とし、小数点第3位を四捨五入して小数点第2位まで求める。

表2 採点の基準

評価ランク	判 断 基 準	採点方法
A	要求水準をはるかに上回る提案、または極めて高い効果が期待できる提案がある	配点×1.00
B	要求水準を上回る提案、または優れた効果が期待できる提案がある	配点×0.75
C	要求水準と同程度の提案、または標準的な提案がある	配点×0.50

表3 評価項目及び配点：事業全体に関する事項

評価項目		求める提案		評価の視点		配点	
1.事業全体に関する事項	(1) 業務実績	汚水処理事業の包括的民間委託または維持管理業務の実績	本件公募日を基準として、過去10年間以内において、汚水処理事業の包括的民間委託の実績を求める。	汚水処理事業の包括的民間委託の実務経験および日進市下水道事業の業務実績があるか評価する。	3	25	
		日進市下水道事業における業務実績					
	(2) 業務実施方針	事業実施にあたっての基本方針	本業務の実施方針について提案を求める。	業務の実施方針が業務の目的と一致しているか評価する。 業務遂行の基本的考え方(実施方針、取組姿勢)及び取組内容が明確に述べられているか評価する。	5		
	(3) 実施体制	実施体制及び各企業の役割分担	本業務の実施体制について提案を求める。	実施体制の系統及び役割分担が明確であるか評価する。 適切な組織体制が組まれているか評価する。 業務に従事する技術者を適切に配置しているか評価する。	3		
		配置予定技術者					
	(4) 環境負荷低減	周辺環境への配慮	環境負荷低減について提案を求める。	日進市環境基本計画に沿った提案となっているか評価する。 周辺環境へ配慮した提案となっているか評価する。 処理場等施設の周辺環境のイメージアップに関する提案となっているか評価する。	3		
		処理場等施設の周辺環境のイメージアップの提案					
	(5) 地域貢献、社会貢献	地元人材・企業の活用	事業期間における地元人材・企業の活用方法について提案を求める。	地元の人材、企業の活用に関して具体的に明示されているか評価する。 地域や社会への配慮について、優れた提案か評価する。	3		
		地域や社会へ配慮した内容					
	(6) 人材育成	市職員の技術力向上及び技術継承の施策	人材育成について提案を求める。	本市職員の技術力向上及び技術継承のための施策が具体的な提案となっているか評価する。 人材育成に関して技術力向上につながる具体的な提案となっているか評価する。	3		
		従事する技術者への研修方針					
	(7) 緊急時の対応、リスク管理	夜間・休日における緊急時の対応	緊急時の対応について提案を求める。	夜間・休日における異常時・緊急時の人員配置計画及び緊急連絡体制が適切であるか評価する。 異常時の対応、停電時の対応、重故障時の対応、災害時の対応方針等が適切であるか評価する。 平時における薬品や燃料等の調達・管理方法や非常時のストックや供給手段確保などの計画が適切であるか評価する。	5		
		異常発生時の対応方針					
		薬品・燃料等の確保					

表 4 評価項目及び配点：公共下水道施設及び農業集落排水施設等、管路施設に関する事項

評価項目			求める提案	評価の視点	配点	
2.公共下水道施設及び農業集落排水施設等に関する事項	(1) 運転管理操作①	運転管理操作に関する取組み	運転管理操作に関する提案を求める。	具体的かつ確実な実施方法であるか評価する。 要求水準未達とならないための対策が記載されているか評価する。	10	30
		放流水質を遵守するための方法				
		脱水汚泥の含水率を管理する方法				
		流入水量や水質、汚泥性状が変化した時の対応策				
	(2) 運転管理操作②	対象施設を良好に保つための日常点検及び定期点検等の方法	運転管理操作に関する提案を求める。	具体的かつ確実な実施方法であるか評価する。 維持管理情報の電子化や蓄積方法、管理方法が実務的な提案となっているか評価する。	10	
		維持管理情報の管理方法				
	(3) 修繕業務	安定的な設備機能維持を可能とする修繕の取り組み	修繕業務に関する提案を求める。	機器・設備における修繕業務に関する実施方針が記載されているか評価する。 機器の延命化を考慮した修繕の考え方が記載されているか評価する。 限られた予算での効率的な修繕の実施に対して考えが記載されているか評価する。 修繕情報の電子化や蓄積方法、管理方法が実務的な提案となっているか評価する。	10	
		修繕情報の管理方法				
	3.管路施設に関する事項	(1) 管路施設の日常的維持管理及び計画的維持管理	日常的維持管理及び計画的維持管理の実施方針	管路施設の日常的維持管理及び計画的維持管理に関する提案を求める。	管路施設の維持管理に関する実施方針が記載されているか評価する。 優先箇所のスクリーニング方法が適切であるか評価する。 維持管理情報の電子化や蓄積方法、管理方法が実務的な提案となっているか評価する。 国の想定される制度変更に伴う柔軟な対応方法が適切であるか評価する。	
管路内詳細調査を実施する優先箇所のスクリーニング方法						
維持管理情報の管理方法						
国の制度変更に伴う柔軟な対応						
(2) 管路施設の改築工事		改築工事周辺の公道における車両通行への影響	管路施設の改築工事に関する提案を求める。	車両通行への影響(渋滞等)に配慮しているか評価する。 施工時の安全対策や騒音・振動への対策が適切か評価する。 管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドラインの品質基準に準拠した方法が提案されているか評価する。	10	
		近隣住民への配慮(安全対策、騒音・振動対策)				
		更生工法における品質確保の方法				
		施工管理の体制				
		地元企業への発注				

表5 評価項目及び配点：コンサルタント業務、統括管理等、その他に関する事項

評価項目			求める提案	評価の視点	配点	
4.コンサルタント業務に関する事項	(1) コンサルタント業務	ストックマネジメント計画の見直しの視点と対応	コンサルタント業務に関する提案を求める。	ストックマネジメント計画の見直しの視点と対応について実現性について評価する。 維持管理計画の基本的な考え方が記載されているか評価する。 老朽化対策、強靱化、脱炭素等の施策の優先度設定の考え方が適切であるか評価する。	10	10
		維持管理計画の利点				
		老朽化対策、強靱化、脱炭素等の施策の優先度の設定方法				
5.統括管理等に関する事項	(1) 統括管理業務	統括管理等の実施体制(統括責任者と各統括責任者補佐の役割)	統括管理業務に関する提案を求める。	統括管理について適切な体制となっているか評価する。また、各統括責任者補佐が統括責任者とともに統括管理業務全体を遂行する役割となっているか評価する。 各業務の検査方法が適切か評価する。 一元的な管理による利点が記載されているか評価する。 セルフモニタリングの方法と業務改善への取組みが適切か評価する。	10	10
		各業務の検査方法と各業務の一元的な管理による利点				
		セルフモニタリングの方法と業務改善への取組み方法				
6.その他	(1) 本市の課題に対する提案や仕様書以外で取り入れたい独自提案	民間提案による独自提案	本市の課題に対する提案や仕様書以外で取り入れたい独自提案を求める。	本市に有効な提案か評価する。	5	5
合計					100	

2 価格評価

見積価格について、以下の方法により価格点を決定する。

$$\text{価格点} = \text{価格点の満点（100点）} \times \text{最低見積価格} / \text{当該応募者の見積価格}$$

(注) 価格点は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までを求める。

3 総合評価

委員会は、定量化審査の結果を基に総合評価点を算出し、最も得点の高い者を優先交渉権者として選定する。

性能点と価格点のウェイトは、8：2とする。

総合評価点は以下の通り決定する。

$$\text{総合評価点} = \text{性能点} \times 0.80 + \text{価格点} \times 0.20$$

(注) 総合評価点は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までを求める。